

責任世代

富士宮市長候補

深沢りゅうすけ

富士宮の可能性に挑む!

前へ もっと前へ!

基本理念

安全・安心に生活でき、
生きている喜びを実感できるまちをつくり、
次世代につなげていきます!

りゅうすけの7の目標 88策

全88策は
ホームページを
ご覧ください

1 安全安心なまち富士宮をつくります。…… 防災・まちづくり

- 小水力発電所をつくり電気の地産地消をすすめます。[4]
- 防災ラジオを全戸に配布します。(一部自己負担有) [2]
- 防災基金(被災した市民や企業の補修や再建の為の利子補給等々の復興支援。)を創設します。[2]
- 無線による各自治会との連絡体制の整備・発電機の整備を順次行ないます。[2]
- 地域の原っぱ事業(平時は自由な広場、災害時にはヘリポート・防災拠点)を進めます。[2]
- ゲリラ豪雨に備えた雨水対策を優先的に行ないます。(治水も防災) [2]
- 道路整備の優先順位を利用度・危険度・緊急度等で点数化し、点数の高い順番に整備します。[す]
- 身延線高架下を有効活用し、南北の人の流れをつくります。[4]

2 まちを徹底的に売り込み「営業し、攻める」市役所をつくります。…… 行政改革

- 「営業部」を新設し、富士宮の商品・景観・風土を営業し、企業や人を呼び込みます。[す]
- 「チャレンジ課長・チャレンジ部長制度」をつくり、やる気のある職員を登用します。[す]
- 小水力発電・水による企業誘致・水の販売これらを総合的に行なう「水公社」を設立します。[4][国]
- 「どこでも市長室」を随時行ない、市政について市民との対話を行ないます。[す]
- 図書館の開館日時を増やします。[2]

3 ムダを省き、借金(市債)を増やさず、次世代にツケを残さない財政運営を行ないます。…… 財政改革

- 市民の努力(リサイクル推進によるゴミ処理費減)による歳出減少分を減税で市民にお返しする、富士宮版「減税システム」を導入します。[4][民]
- わかりやすい財政白書づくり・事業仕分けを行ない、税金の使い道をわかりやすく公開しムダを省きます。[2]
- 情報システム関連の専門職員を採用し、市役所のコンピュータ関連の支出を削減します。[2]

[す] すぐにやります。 [2] 2年目までにやります。 [4] 任期中に取り組みを始めますが、実現するには、4年ぐらいかかります。

[長] 実現するには、4年以上かかります。 [国] 国及び県の許認可や承認が必要です。 [民] 企業、団体、市民の協力が必要です。